

ディボーション質問表



6日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
 2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
 3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。
- * テモテとテトスへの手紙の三つは共通の特質を持っており、「牧会書簡」と呼ばれています。これらの手紙は形としては個人宛の手紙ですが、内容はむしろ公的性格を持っており、その大部分はテモテとテトスの仕える教会の必要を覚えてのものであって、牧会上の問題を扱ったものになっています。

7日(月) テモテへの手紙第一 5:17~25

1. 依存的にならず自立した生き方ができるために、「よい働きを受けることと報酬を出すこと」について、じっくり考えてみましょう(17~18節)。
2. 罪を犯したものに対する対処の仕方について考えてみましょう(19~25節)。

8日(火) テモテへの手紙第一 6:1~21

1. 生れた時も死ぬ時も何も持ちません。将来、神様の前に立っている自分(経営者として、従業員として、富を管理する者として)を想像してみましょう(17~18節)。
2. そうであるならば、今の人生をどうしますか？ 今日一日をどう生きますか(19~25節)？

9日(水) テトスへの手紙 1:1~16

1. 私たちが神からゆだねられている宣教とは何でしょうか？ 健全な宣教のために避けるべきことは何でしょうか？
2. 私たちの口から出る言葉は健全でしょうか？ 監督として健全な人格を持っているでしょうか。チェックしてみましょう。

10日(木) テトスへの手紙 2:1~15

1. キリストがご自身をささげた理由をこの箇所から発見してみましょう。
2. この箇所は自分たちの口と行動のつながりを教えています。あなたの人格(品性)の中で成長する必要があるところはありますか？ この箇所に書かれていることでチェックしてみましょう。

11日(金) テトスへの手紙 3:1~15

1. 私たちを罪の生活から自由にするものは何でしょうか？
2. 自由になった者の生活について、聖書は何と言っていますか？ 私たちがどのように生きることを神様は願っているでしょうか？

12日(土) テモテへの手紙第二 1:1~8

1. パウロはテモテに手紙を書いています。そして昼夜あなたのことを祈っていると述べています。あなたも祈る人を見つけてみませんか(3節)？
2. テモテの祖母や母はテモテに何を手渡していますか？ 信仰の先輩であるパウロは後輩のテモテに手を置いて何を与えましたか(5~6節)？ 「私は人に何を与えているでしょうか？」
3. 神様が私たちに与えてくださったものは何ですか？ それゆえにどうあるべきでしょうか(7~8節)？